

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		16-	6
事業名	教材整備費（小学校費）	会計	款	項	目
		一般	10	2	2
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名	学校教育課		
施策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	各小学校の児童	目的（対象がどのような状態になっているか）	より良い環境で教育を受けることができる。
事業内容	小学校教育に必要な教材（消耗品・備品・教科書等）を購入する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B				8,226	11,108			11,547	
財源内訳	直接事業費A			7,680	10,562			11,199	
	うち一般財源			7,680	10,562			11,199	
人件費（千円）B				546	546			348	
内訳	一般職員（人・千円）			0.08	528	0.08	528	0.05	330
	臨時職員（人・千円）			0.01	18	0.01	18	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	タブレット端末の学校・家庭における有効な活用について、学校現場及び事務局で検証する。	③取組の課題	タブレット端末及び学習ドリル等電磁教材の有効活用の具体例不足。学校における活用差が大きかった。
②R4年度に実施した取り組み	タブレット端末で使用する学習ドリルの使用、ICT支援員による活用方法研修の実施	④今後の改善計画	タブレット端末の学校・家庭における有効な活用について、具体例を示し、町内すべての学校で同じ活用頻度になるよう支援する。